

本書の見方

関心のある本を選んでいただけるよう、著書を8つのマークでカテゴリー分けしています。



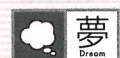
→ **幸福を求めて**
すべての人類を、幸福にするための思想における最大公約数は「思いやり」。その具現化が、不幸を幸福に変える「礼」や「ホスピタリティ」です。



→ **死は不幸ではない**
死別とは、時間差で旅行に出かけるようなもの。逝く人は「お先に」と言い、遺された人は「後で行くから、待っててね」と声をかける…。



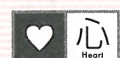
→ **宗教とは何か**
歴史的伝統と探求と経験から汲み上げてきた観知にもとづき、人間相互の友愛や幸福、世界平和に寄与する。それが宗教本来の精神と役割。



→ **ファンタジーへの招待**
ハートフル・ファンタジー。それは神話やメルヘンと同様に、「死」や「死後」について説明し、さらには人間の心に深い癒しを与えてくれます。



→ **日本文化を見直す**
日本文化の背景にある、神道、仏教、儒教の存在と、それらに共通する先祖崇拝。古代より伝わる日本人の「こころのDNA」をさぐります。



→ **こころの経営**
すべての組織は、人間の集まりに他なりません。人を動かすことが経営の本質。「経営通」になるためには、「人間通」にならなければなりません。



→ **読書を活かす**
人生や仕事上で起きる様々な問題。そんなとき、先人の知恵や歴史を知り、深い人間心理を学ぶことができる読書こそ最善の解決方法です。



→ **知の冒険へ・・・**
わたしは、自分がまだ何も知らないことを知っています。本当の「知」とは、自分が知っていることと知らないことの区別を知ることだと思っております。

- 各著書のタイトル下の「※」は監修書を、「*」は編著を表しています。
- 著書によって手に入らないケースがあります。書店にご確認ください。

ご挨拶

わたしは、これまで「一条真也」のペンネームで多くの本を書いてきました。

経営から宗教まで、書くテーマは多岐にわたりますが、すべてはサンレーのミッションである「人間尊重」という考え方を世に広める「天下布礼」の書をめざしています。

本を書くのも、大学の教壇に立つのも、隣人祭りを開くのも、本業の冠婚葬祭のお世話をさせていただくのも、すべては「天下布礼」の営みなのです。

この度、読者の方々のご要望にお応えし、前回の改訂以降に上梓した著書を加えた最新版を作成しました。ご参考になれば幸いです。

2020年6月9日

株式会社サンレー代表取締役社長

佐久間 庸和